

ことばの不思議

—否定極性表現から見た日本語と世界の言語—

スピーカー

水谷 謙太 氏

(外国語学部英米学科)

日本語には、主に否定文で用いられる否定極性表現と呼ばれる表現があります。
(例：○「一人も来なかった」vs. ×「一人も来た」) 日本語と世界の様々な言語の否定極性表現を比較すると、まったく無関係に見える言語でも、実は同じ「論理的な性質」が関わっていることがわかります。
否定極性表現を通して、ことばの不思議を一緒に体験しましょう。

2022年 **10月12日(水)**
12:05~12:55

場所 iCoToBa Activity Space
セミナーはオンラインでも視聴いただけます！

視聴方法

県大のOffice365 Teamsで
「コードでチームに参加する」に
チームコード「4jw5fa8」を入力し、
「Global / iCoToBa」のチームに
参加してください。前日までに、
セミナーを視聴するためのZOOMの
リンクをお知らせします。